

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人和敬会	代表者	太田 一平	法人・事業所の特徴	『おだやかな“生きる”を支えたい。』を理念として、生活の拠点となる在宅での生活を支えるべく本人様の生活環境やご家族、介護者の方の要望に応じたサービス提供に努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所なごみの郷	管理者	石原 陽子		



出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	介護部その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	細かい事でも連絡の不備がない様、報連相の徹底に努める。日頃から状況確認に努め、急な依頼にも応えていけるようにしたい。	できる限りの利用者や家族の要望等に対し朝礼時や連絡ノートを活用し職員同士共有し検討している。	しっかりと前回設定した計画を意識して取組んでいるし、反省もできている。	引き続き報連相の徹底し小さなことでも職員同士共有し改善等に努めていく。ご家族の依頼にもできる限り応えられるよう話し合っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症の知識の向上は引き続き努め、スタッフ自身の言動も環境の一部と捉え意識を高める。	外部の先生が感染症の研修を行い共有することで感染症防止の知識ができています。菌を持ち込まないよう努めている	特段入りづらいという雰囲気もないし、利用者の皆さんにとってもいい空間だと思う。	職員や通い利用者が菌を持ち込まないよう努める。また、フロア等の環境整備を行い安心して頂ける環境を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事の参加をさせて頂く他、今後も散歩を行い地域の方との交流を図る。	地域で行っている祭りやグラウンドゴルフに参加している他、気候が良い日は定期的に散歩を行い地域の方との交流を図っている。	近隣の方も利用しているという話も聞くし、頼りになると思う。スタッフの方も、利用者の方も挨拶して下さる。	積極的に地域の行事に参加していく他、散歩を引き続き行い地域との交流を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域とのつながりを大切にして、お互いに相談や協力していけるような関係づくりに努めていきたい。	他事業所のケアマネや地域の方からの相談事や依頼に柔軟に対応できるように準備をしている。	スポーツ人広場で開催している子供たちとのイベントにも参加してくれて、いい雰囲気できていると思う。	他事業所のケアマネとの連携を図り協力や相談しやすい関係づくりに努めていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議にて地域の現状を確認し、地域に求められる事業所を目指していく。	運営推進会議の場で地域の方に事業所の情報発信や地域の声に応えられるような事業所を目指していく。	施設の取組みなどもしっかり共有してくれている。	運営推進会議の場で地域の方にも活動の様子が伝わるように情報を整理したり準備をする。

F. 事業所の 防災・災害対策	災害においては、いついかなる時にも協力できるよう体制の構築と地域との関係性に努めていく。	防災体制や災害時の対応、地域との連携を確認把握する。	福祉避難所でもあり、災害時には頼りになると思う。	防災体制や対策を確認し、スタッフの意識付けも行う。有事の際は地域との協働に努め、地域にとっての防災力の一部になれるように努める。
--------------------	--	----------------------------	--------------------------	--